

放射線科

臨床研修期間(2年間)		専門医研修期間(標準3年間)						
病院名(60病院)	医療圏	基幹施設名(9病院)	2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名	2次医療圏	地域群	
横浜労災病院	横浜	⇒	北里大学病院	相模原	B	湘野辺総合病院	相模原	B
昭和医科大学藤が丘病院						相模原協同病院	相模原	B
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院						相模野病院	相模原	B
横浜旭中央総合病院						相模原病院	相模原	B
菊名記念病院						横浜医療センター	横浜	C
汐田総合病院						帝京大学医学部附属溝口病院	川崎北部	C
昭和医科大学横浜市北部病院						関東労災病院	川崎南部	C
済生会横浜市東部病院						関東労災病院	川崎南部	C
済生会横浜市南部病院						湘南鎌倉総合病院	湘南東部	B
横浜南共済病院						横浜市立大学附属病院	横浜	C
横浜栄共済病院						東海大学医学部付属病院	湘南西部	B
横浜市立大学附属病院						大船中央病院	湘南東部	B
横浜市立みなと赤十字病院						藤沢市民病院	湘南東部	B
横浜市立大学附属市民総合医療センター						平塚市民病院	湘南西部	B
横浜中央病院						海老名総合病院	県央	B
けいゆう病院						菊名記念病院	横浜	C
横浜医療センター						昭和医科大学藤が丘病院	横浜	C
横浜市立市民病院						川崎幸病院	川崎南部	C
国際親善総合病院						神奈川県立足柄上病院	県西	A
戸塚共立第1病院	神奈川県立こども医療センター	横浜	C					
東戸塚記念病院	横浜市立大学附属病院	横浜	C					
聖隷横浜病院	神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜	C					
帝京大学医学部附属溝口病院	神奈川県立足柄上病院	県西	A					
聖マリアンナ医科大学病院	小田原市立病院	県西	A					
川崎市立多摩病院	横須賀共済病院	横須賀・三浦	B					
新百合ヶ丘総合病院	湘南鎌倉総合病院	横須賀・三浦	B					
虎の門病院分院	藤沢市民病院	湘南東部	B					
関東労災病院	藤沢市民健康医療センター診療所	湘南東部	B					
川崎市立川崎病院	神奈川県予防医学協会中央診療所	横浜	C					
医療法人社団こうかん会日本鋼管病院	横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C					
川崎協同病院	神奈川県立こども医療センター	横浜	C					
川崎市立井田病院	横浜南共済病院	横浜	C					
日本医科大学武蔵小杉病院	神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜	C					
川崎幸病院	横浜労災病院	横浜	C					
相模原病院	ゆうあいクリニック	横浜	C					
北里大学病院	済生会横浜市南部病院	横浜	C					
相模原協同病院	神奈川県立がんセンター	横浜	C					
横須賀市立総合医療センター	横浜市立市民病院	横浜	C					
横須賀共済病院	相模原協同病院	相模原	B					
横須賀市立市民病院	藤沢市民病院	湘南東部	B					
湘南鎌倉総合病院	聖隷横浜病院	横浜	C					
大船中央病院	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	横浜	C					
藤沢市民病院	横浜栄共済病院	横浜	C					
湘南藤沢徳洲会病院	横浜市立みなと赤十字病院	横浜	C					
藤沢湘南台病院	川崎市立多摩病院	川崎北部	C					
湘南東部総合病院	聖マリアンナ医科大学附属研究所プレストアンドイメー	川崎北部	C					
茅ヶ崎市立病院	川崎市立川崎病院	川崎南部	C					
平塚市民病院	関東労災病院	川崎南部	C					
平塚共済病院								
東海大学医学部付属病院								
伊勢原協同病院								
秦野赤十字病院								
大和市立病院								
海老名総合病院								
厚木市立病院								
東名厚木病院								
湘南厚木病院								
小田原市立病院								
山近記念総合病院								
神奈川県立足柄上病院								

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
県西	A	小田原市立病院	417	当院は、県西地域の基幹病院として、28の診療科を備え、急性期、高度医療や救急医療を担うとともに、地域周産期母子医療センターとして小児、周産期救急、また、脳神経疾患、整形外科疾患、外科疾患などあらゆる分野の急性期疾患に対応しています。 また、当院循環器センターでは急性冠症候群や心不全、不整脈などの心臓疾患全般だけでなく、全身の血管に関わる診断、治療を積極的に行っております。 全国的な医師不足の中、当院でも医師の招聘に苦慮しており、今後も県西地域の基幹病院としての役割を担っていくためには一人でも多くの医師を必要としていることから神奈川県「地域枠医師」の受け入れを希望するものです。	当院は地域の基幹病院として非常に幅広い症例を扱っています。また、病棟連携や病診連携、診療科間の連携が密であり、「顔の見える関係」で働ける強みがあります。 当院で地域枠医師に勤務いただき地域医療に貢献していただくとともに、当院に勤務する多くの若手医師と互いに切磋琢磨しながら一人でも多くの医師が地域医療に従事してもらえることを期待しています。 また、当院は、多くの診療科の指定研修施設として認定を受けており、地域の基幹病院の立場から非常に幅広い症例を扱っているため、多くの若手医師を積極的に受け入れて地域医療に貢献できる医師の育成に力を入れているとともに、ダビンチや遠隔医療システムなど、先進的な医療機器の導入も積極的に行っています。
県西	A	神奈川県立足柄上病院	296	県西医療圏でも高齢化・人口減少が進んでいるが、医療需要は幅広くあり、特に救急医療の維持には人員が必要であるため。	足柄上病院は、新専門医制度における内科と総合診療科の基幹施設であり、generalな力を持った指導医も在籍している。 放射線科:画像診断の専門医として、CT、MRIなどの医療画像の読影をしている。
横須賀・三浦	B	横須賀市立市民病院	339	各診療科の医師数は十分とは言えず、診療科によっては入院制限や緊急時の手術制限をする場合もある。二次保健医療圏の医師数の状況を踏まえても、更なる医師の確保が必要である。	派遣された医師が、臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した診療ができ、地域医療に貢献できるよう配慮していきます。
湘南東部	B	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	419	神奈川県湘南東部地域の地域医療を支える当院救急や感染症チーム、およびそのバックアップとしての臨床はもちろん、県下での臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的に行いたい。層の厚い当院の屋根瓦式教育は、次世代の地域医療を担っていく若手～中堅医師のニーズに沿った良質な研修/指導環境が提供できていると自負している。	当院では日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生かす人々の命と健康に関する幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。また辻駅すぐの立地で、敷地内には職員専用の保育園があります。
湘南西部	B	東海大学医学部付属病院	804	本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来に渡り、地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。	特定機能病院として高度医療を提供すると共に、神奈川県ドクターヘリを運用する高度救命救急センターを併設しています。また、総合周産期母子医療センターや造血幹細胞移植地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として、専門的治療を行っています。
湘南西部	B	平塚市民病院	416	当院の救急車搬送患者数は10,060人(令和6年度)であり、全国的に見ても上位に入る多さであるが、一部の診療科では医師不足の状況が深刻化しており、「地域医療支援病院」として地域のニーズに応える医療を展開する中で、今後も引き続き安定して患者を受け入れるためにも、ぜひ医師の派遣を要望します。	当院は29診療科のもと、各科症例数も多いので、さまざまなスキルを積むことができ、幅広い科目で専門医の資格を取得することもできます。湘南地域で地域密着型の医療を提供する自治体病院の一員として、共に活躍していただける先生をお待ちしています。
県央	B	厚木市立病院	347	放射線科:常勤の放射線治療医が不在のため。	当院は県央地区の公立の基幹病院として、地域の医療機関との連携を推進するとともに、急性期を中心とした二次医療の提供や、専門性に基づく高度医療の強化に努めています。(地域医療支援病院、感染症指定医療機関、県災害拠点病院、難病医療支援病院、エイズ治療拠点病院、がん診療連携指定病院)
横浜	C	昭和医科大学横浜市北部病院	689	—	—
横浜	C	独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院	650	医師数が欠員となっている診療科があるとともに、患者数の増加に診療が追いつかなくなっているため。	多くの診療科が整備されており、研修プログラムも充実している。診療科間の研修医交流が可能。
横浜	C	昭和医科大学藤が丘病院	584	当院は1975年の開院から40年以上が経過し、耐震化や医療の高度化に向けて再整備計画をすすめています。再整備にあたっては、2018年10月に昭和大学、横浜市、東急電鉄の三者で「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結し、駅前施設・公園・病院が一体となったまちづくりに取り組むことになりました。そのような状況下で今後ますます当院に対する期待が高まることが予想され、その期待に応えるためにもより多くの優れた医師を養成したいと考えているからです。	当院は大学附属病院としての高度な医療水準を保ちつつ、急性期医療から難病、リハビリテーションまで様々な疾患を多数診療しています。そのため多彩な症例を数多く経験することができます。大学病院でありながらも各診療科間・各部門間の垣根が低く、コミュニケーションがとりやすい環境の中で患者さん中心のチーム医療を実践しています。
横浜	C	菊名記念病院	218	地域医療支援病院として中長期で地域医療に貢献できる医師を定着させる為に受入を希望します	救急車をお断りしないことから年間7000台以上の救急車を受け入れており、どの診療科でも数多くの症例を経験できます。
横浜	C	横浜市立大学附属市民総合医療センター	655	—	—
横浜	C	横浜市立市民病院	650	2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いとっており当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。	当院は横浜市の基幹施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域周産期母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院に指定されているなど、日常よく遭遇するcommon diseaseから高度な医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験を積むことができます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。 2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張りましょう。
横浜	C	社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	287	外科、内科、泌尿器科、整形外科、眼科には既に大学人事での専攻医が所属し、他の診療科にも指導体制が整備されているが、いずれの診療科も医師不足である。	横浜市2次救急拠点病院Aとして年間5,000件以上の救急搬送を受け入れ、地域の中核病院として多くのcommon diseaseに対応している。産科では無痛分娩を積極的に行ない、分娩数の約半数を占めている。緩和ケア病棟を備え、診断から緩和までシームレスながん医療を展開している。泌尿器科、外科、婦人科ではロボット支援手術を積極的に行なっている。
横浜	C	神奈川県立がんセンター	415	—	—

地域実践標準4年（専門研修を希望しない場合は7年間）					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
横浜	C	神奈川県立循環器呼吸器病センター	239	・当センターは、循環器・呼吸器病の専門病院として、高度先端医療と救急医療を提供しているとともに、地域医療支援病院として、地域の各医療機関と連携し地域医療の充実向上に一定の役割を担っている。 ・そうした一方、本県では、少子・高齢化により総人口は既に減少局面にあるとともに、高齢者人口の増加が見込まれている。このため、高齢者を中心に当センターの対象となる疾患の入院需要も増加すると予想されており、当センターとしても医師体制の充実を図る必要があると考えている。	・当センターの特徴は、チーム医療にあり、間質性肺炎センター、心房細動センターや糖尿病サポートチームにより、院内各部門の枠を超え、チーム医療により患者様に最適な治療を提供している。さらに、医療者の育成や臨床研究にも力を入れており、将来の地域医療を担う自治医大卒業生の配属先として、有効な場であると考えている。 ・また、受入れを希望している放射線科では、2016年に全身用X線320列CT診断装置を、2018年には高精細CT診断装置を導入している。
横浜	C	社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市南部病院	500	当院は横浜市大関連施設であるため、専門研修ローテーションを含め、医師の赴任離任は大学人事に依り行われているためです。	当院は指導体制も含め各診療科は横浜市大各教室と連携を密にしております。このことからとくに、指導医が複数いる診療科ではサブスペシャリティの指導体制も充実しております。
川崎北部	C	聖マリアンナ医科大学病院	955	【放射線科】 放射線治療：放射線治療患者数は順調に増加しているが、聖マリアンナ医科大学に限らず、神奈川県内の放射線治療医の不足は深刻な状況であり、神奈川県民に質の高い放射線治療を提供するためには医師の増員が最重要課題であるため。	【放射線科】 放射線治療科：放射線治療科・放射線治療学講座が独立しており、また放射線治療センターが新規稼働直後であり、最新の機器・装置環境で放射線治療に特化した診療を行うことができる。
川崎北部	C	帝京大学医学部附属溝口病院	400	神奈川県内で長く勤務を希望する人材を採用することは、当院の理念である「地域に根ざした高度で良質な医療を実践します。」に合致するため。	大学病院として高度専門医療はもちろん、地域に密着しているため多くのコンディジーズを経験することができます。各科の垣根は低く、医療スタッフの連携やチームワークがよい病院です。 ●放射線科：大学の附属病院につき、先進の放射線診療を学ぶことが出来るとともに、教育・研究にも携わることができる。
川崎北部	C	川崎市立多摩病院	376	当院は地域中核病院として、地域住民の健康を支えるとともに、将来の地域医療を担う医師の育成に貢献することを重要な使命と考えております。地域枠医師の受入れを通じて、診療体制の強化とともに、地域医療の継続性を確保し、安定的な医療提供体制の構築を図るため、受入れを希望します。	放射線科：CTやMRIなどの画像診断を通じて、各診療科の診療を支援。また、放射線治療も行い、がん治療にも貢献しています。